

高校を卒業したら古典に親しもう

—古典との対話で、一生かけて自らを振り返る力、思慮深さを身に付けよう—

学校法人 有朋学園
有朋高等学院 理事長
林 明夫

1. 人生は長い

- (1)長い人生を充実させるために古典に親しもう。
- (2)古典に親しむとは、古典と対話をする事。
- (3)古典に親しみ、対話をして自分を振り返る力、思慮深さを身に付けよう。
- (4)人生は長いので、ゆっくりと何回も同じ作品に親しもう。
- (5)まずは書店や図書館で、学校で習ったような代表的な古典に触れてみよう。

2. 「論語」を第一章から少しずつ読んでみよう

- (1)「学びて時にこれを習う、またよろこばしからずや。
- (2)朋(とも)あり遠方より来たる、また楽しからずや。
- (3)人知らずしていきどおらず、また君子ならずや。」

*この(1)は「学ぶ」こと、「習う」こと、つまり、「学習」の秘訣、学力向上の秘訣を説く。

(2)は「よき友」「志を同じくする友」「励まし合う友」のすばらしさを説く。

(3)は「こんなにながらんでいる自分を正当に評価してくれる人がいなくてもがっかりしない、失望しないでまたがんばろう」という人生の秘訣を説く。

3. これからは「自己責任」「自助努力」「自分の未来は自分で切り開く」「あきらめたらおしまい」の精神でいこう

- (1)そのために、古典に親しみ、古典を何回も読むことで思慮深さを身に付け、たえず自分自身を見つめ直すこと、振り返ること
- (2)ただし、健康第一・心の健康、身体の健康を大切に。
- (3)御卒業おめでとうございます。

以上